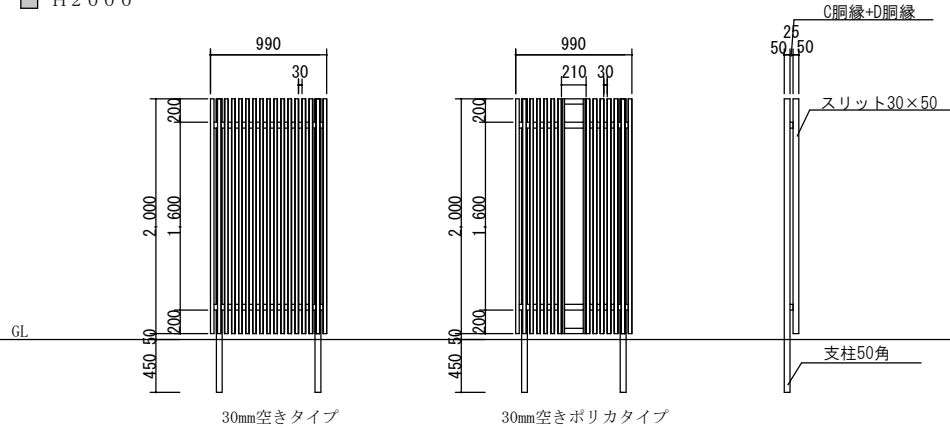
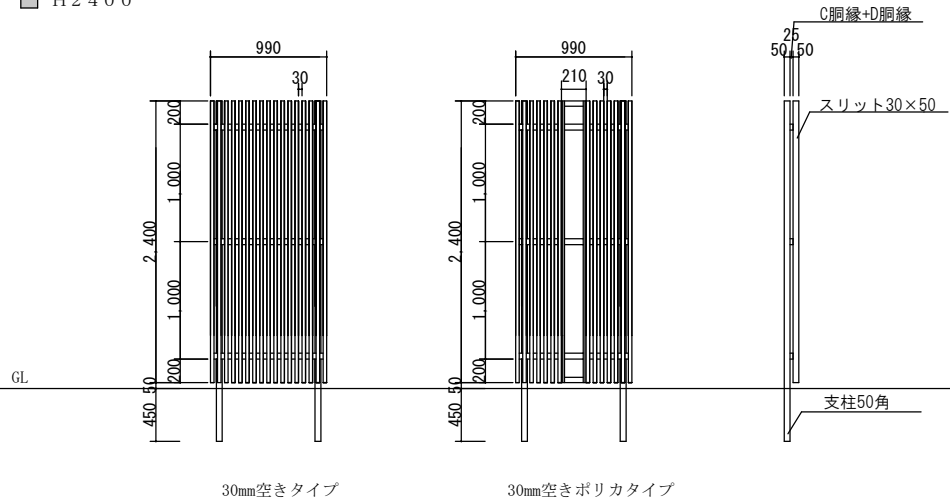


基本図面

■ H2000



■ H2400



エントランススリット

加工・組立説明書

30mm空きタイプ



取扱説明書 施工と使用上のご注意

注意 安全にご使用頂くため、必ず守って下さい

商品の施工につきましては、必ず組立説明書に従って施工して下さい。施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しすると共に、メンテナンス等についてお客様に充分ご説明下さい。
組立・施工完了後には、ネジの緩み等再度点検し、汚れ等を取り除いてください。

1. 研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

製品の切り口は、怪我の原因となることがあります。直接触る時は十分に気を付けて下さい。
風当たりの強い場所や地盤の弱い場所に施工する場合は、控え柱等の補強が必要です。

2. 取扱い上の注意事項

パネルを揺すったり、寄りかかったりしないで下さい。
パネルの一点に衝撃を加えると、破損等事故の原因となります。ハンマー等で叩いたり、ハシゴをかけるなど絶対しないで下さい。
保護パネルに雨具、洗濯物、布団等を乗せるなど本来の目的と違う用途での使用はしないで下さい。

3. お手入れ方法及び注意事項

大気の流れがパネル面・柱等に付着しますので年1～2回の洗浄をおすすめします。
製品の汚れは水で洗い落として下さい。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、その後は水で洗い流して下さい。
研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

■ アルミ支柱の設置方法

柱埋込タイプ ・支柱根巻きコンクリート仕様

- 支柱用の穴を掘り深さを決め栗石を入れます。
- スリット本体が完成した後、支柱の垂直を確認し、コンクリート等で根巻き工事を施します。

■ アルミ支柱の設置寸法

基本

連結+基本

連結ユニットがある場合は、基本パネルの支柱とD胴縁を定位置に固定した後、連結パネルのD胴縁をはずし、ジョイント金具(裏板)を両方のD胴縁にしっかりと固定し、且つ高さ合わせた次の支柱の定位置にビス止めて下さい。
 ◎支柱とD胴縁を先に完工してから基本パネル・連結パネルの順に施工して下さい

■ 横胴縁連結部ジョイント方法 (裏板)

※連結ジョイントする場合は、下図の寸法位置で5.0mmの穴を空けて、付属の4×8ナベネジで止めて下さい

裏板サイズ9×80

■ コーナー施工の確認事項

自在丁番 1ヶにつき付属のビス (4×16) 8本でそれぞれのD胴縁に固定してください

コーナー角度が90° の場合

角度が90° 以外の場合 (支柱が2本合わせになります)

自在丁番
 H2000 = 2ヶ所
 H2400 = 3ヶ所

■ 施工手順

1 アルミ支柱の設置

●高さ・垂直を確認します

2 D胴縁の固定

- D胴縁はスリット完成パネルのC胴縁にそれぞれテープで仮合せで止めてあります。施工時にC胴縁より外して下さい
- 支柱にD胴縁を取付する高さを合わせてから、付属のビス(4×16)で支柱の定位置に固定します

3 C胴縁の固定

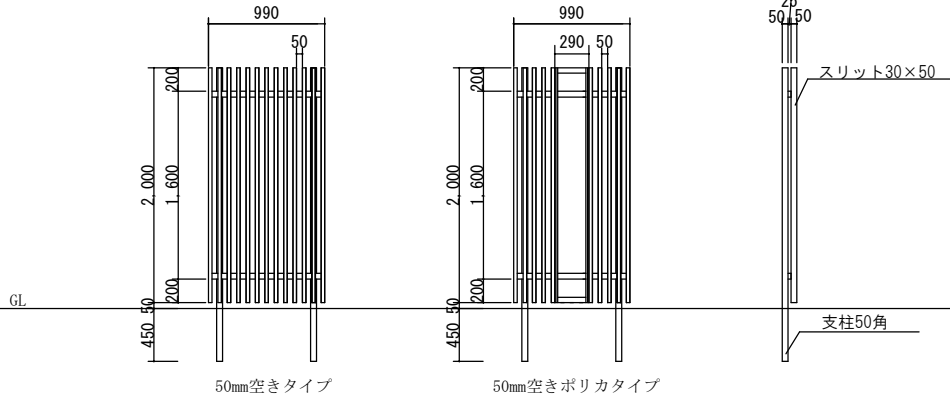
※C胴縁には取付方向がありますのでご注意ください

※C胴縁とD胴縁の掛け合は繊細な寸法で合せられる様になっておりますので、慎重に施工して下さい

- スリット完成パネルを固定したD胴縁に引っ掛けます
- 付属のビス(4×16)でC胴縁とD胴縁を任意の位置で固定して下さい
- 連結の場合はD胴縁とC胴縁を掛け合せ、密着接続した後、付属のビス(4×16)で同様に固定してください
- 胴縁小ロキヤップを付属のビス(4×20)で固定します
- 柱キャップをはめ込みます

基本図面

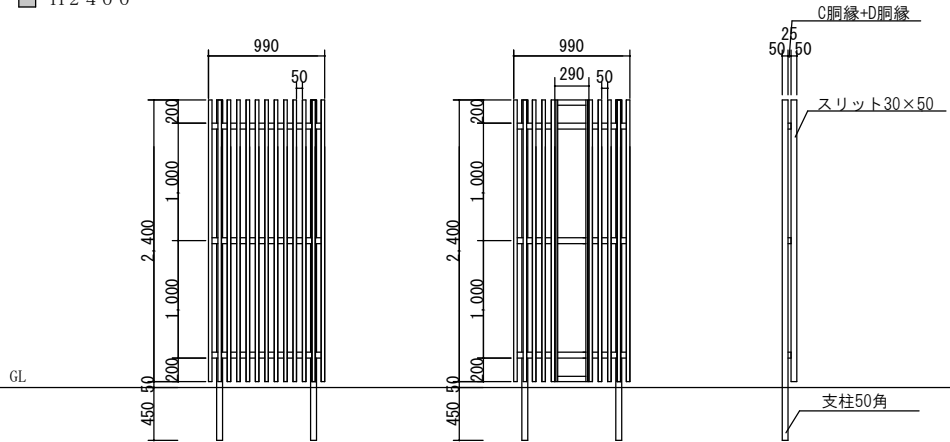
■ H2000



50mm空きタイプ

50mm空きポリカタイプ

■ H2400



50mm空きタイプ

50mm空きポリカタイプ

エントランススリット

加工・組立説明書

50mm空きタイプ

取扱説明書 施工と使用上のご注意

注意 安全にご使用頂くため、必ず守って下さい

商品の施工につきましては、必ず組立説明書に従って施工して下さい。施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しすると共に、メンテナンス等についてお客様に充分ご説明下さい。
組立・施工完了後には、ネジの緩み等再度点検し、汚れ等を取り除いてください。

1. 研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

製品の切り口は、怪我の原因となることがあります。直接触る時は十分に気を付けて下さい。
風当たりの強い場所や地盤の弱い場所に施工する場合は、控え柱等の補強が必要です。

2. 取扱い上の注意事項

パネルを揺すったり、寄りかかったりしないで下さい。
パネルの一点に衝撃を加えると、破損等事故の原因となります。ハンマー等で叩いたり、ハシゴをかけるなど絶対しないで下さい。
保護パネルに雨具、洗濯物、布団等を乗せるなど本来の目的と違う用途での使用はしないで下さい。

3. お手入れ方法及び注意事項

大気汚れがパネル面・柱等に付着しますので年1～2回の洗浄をおすすめします。
製品の汚れは水で洗い落として下さい。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、その後は水で洗い流して下さい。
研磨性洗剤やシンナー、ガソリン等石油系溶剤は使用しないで下さい。

エントランススリット(隙間50mm) 施工の留意点



■ アルミ支柱の設置方法

柱埋込タイプ ・支柱根巻きコンクリート仕様

- 支柱用の穴を掘り深さを決め栗石を入れます。
- スリット本体が完成した後、支柱の垂直を確認し、コンクリート等で根巻き工事を施します。

■ アルミ支柱の設置寸法

基本

連結+基本

連結ユニットがある場合は、基本パネルの支柱とD胴縁を定位置に固定した後、連結パネルのD胴縁をはずし、ジョイント金具(裏板)を両方のD胴縁にしっかり固定し、且つ高さを合わせた次の支柱の定位置にビス止めて下さい。
 ◎支柱とD胴縁を先に完工してから基本パネル・連結パネルの順に施工して下さい

■ 横胴縁連結部ジョイント方法 (裏板)

※連結ジョイントする場合は、下図の寸法位置で5.0mmの穴を空けて、付属の4×8ナベネジで止めて下さい

■ コーナー施工の確認事項

自在丁番 1ヶにつき付属のビス (4×16) 8本でそれぞれのD胴縁に固定してください

コーナー角度が90° の場合

角度が90° 以外の場合 (支柱が2本合わせになります)

自在丁番
H2000 = 2ヶ所
H2400 = 3ヶ所

■ 施工手順

1 アルミ支柱の設置

●高さ・垂直を確認します 基本・標準仕様の場合

2 D胴縁の固定

- D胴縁はスリット完成パネルのC胴縁にそれぞれテープで仮合せで止めてあります。施工時にC胴縁より外して下さい
- 支柱にD胴縁を取付する高さを合わせてから、付属のビス(4×16)で支柱の定位置に固定します

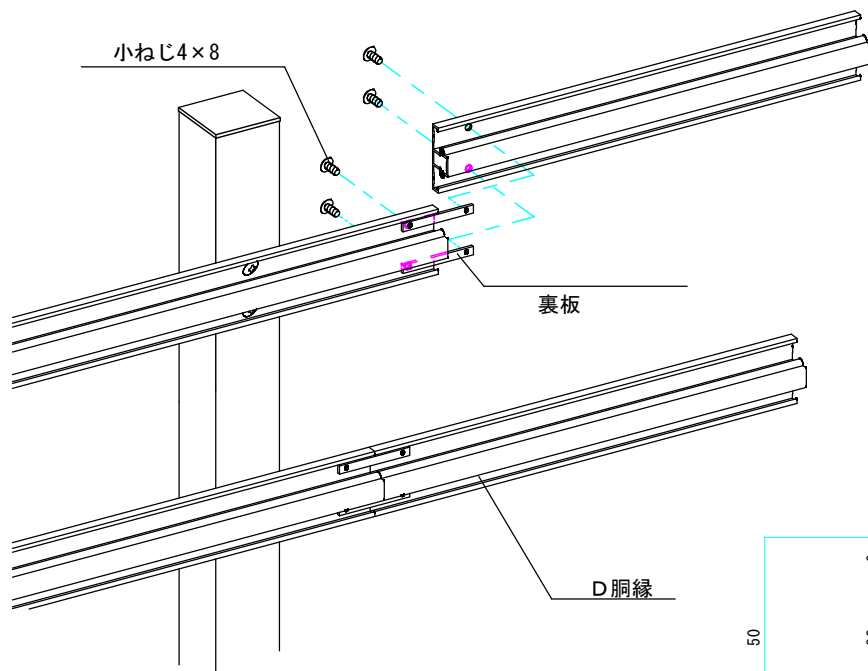
3 C胴縁の固定

※C胴縁には取付方向がありますのでご注意下さい

※C胴縁とD胴縁の掛け合は繊細な寸法で合せられる様になっておりますので、慎重に施工して下さい

- ①スリット完成パネルを固定したD胴縁に引っ掛けます
- ②付属のビス(4×16)でC胴縁とD胴縁を任意の位置で固定して下さい
※連結の場合はD胴縁とC胴縁を掛け合せ、密着接続した後、付属のビス(4×16)で同様に固定してください
- ③胴縁小ロキヤップを付属のビス (4×16) で固定します
- ④柱キャップをはめ込みます

エントランススリット 連結方法（裏板）



既設のスクリーンに連結ジョイントする場合は、下図の寸法位置で
5.0mmの穴を空けて、付属の4×8ナベビスで止めて下さい

